国語科　学習指導案（略案）

指導者 　　年　組　　名前

１．日　時　　　令和　年　月　　日（　）第　時限　　　２．場　所　　５年　組教室

３．学年・組　　第５学年　組（　名）

４．単元名　　　「 きいて、きいて、きいてみよう 」

５．本単元を通してつけたい力と言語活動の設定

「聞き手」の時の聞き方・「話し手」の時の聞き方・「記録」する時の聞き方を学び、

互いの意図をはっきりさせながら、話題に沿って話し合えるようにする。

　言語活動【５年間一緒に過ごした友だちのことをもっと深～～く知るために

　　　　　　いろんな「聞き方」を考えながらインタビューをして、聞き上手を目指そう！】

６．校内授業研究テーマ・研究仮説を達成するための本時の工夫

校内授業研究テーマ

**「楽しい！」「やりたい！」があふれる授業づくり**

**～言葉のキャッチボールを通して、伝え合う喜びを～**

研究仮説

**①**子どもにとって、何を学ぶのかが分かりやすい授業・単元計画

に本時では重点的に取り組む。

本時の工夫

本時では３人組みで「話し手」「聞き手」「記録者」に分かれてインタビュー活動をし、一回目のインタビューの後、活動を振り返る時間を設ける。その際に気づいた点を全体で交流することで、インタビュー活動で“どのように聞けばよいのか”を誰もが理解しながら二回目、三回目と活動をすすめられるようにする。

７．板書計画

インタビューして・・・

〈聞き手〉

・

〈話し手〉

・

〈記録〉

・

聞き上手になるためには、○○○○○○

３人が、いろんな「聞き方」を考えながら

インタビューをして、聞き上手のコツを見つけよう

ゴール

５年間いっしょに過ごした友だちのことをもっと

深～～く知るために、いろんな「聞き方」を考えながらインタビューをして、聞き上手を目指そう！

聞き手

話し手

記録

８．本時の学習

（１）本時の目標

　　　「聞き手」「話し手」「記録」の時の「聞き方」を考えながら、話題に沿ってインタビュー

活動をする。

（２）本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容・学習活動  予想される児童の反応 | 指導上の留意点（◎）  習得や理解が不十分な児童への支援（☆） | 評価規準及び  評価方法 |
| ５  分  導入 | １．前時までの学習を振り返り、本時  のめあてを確認する。 | ☆掲示物を使い、視覚的に振り返る。  **めあて**：３人が、いろんな「聞き方」を考えながら、インタビューをして、聞き上手のコツを見つけよう。 |  |
| ３０  分  展開 | ２.前時で考えた「話し手」「聞き手」「記録」のポイントを踏まえながら、一回目のインタビュー活動（５分）をする。  ３．インタビュー活動を振り返る。  　　一人・班  →全体  →一人  ４．役割を交代し、インタビュー活動を行う。（活動５分・振り返り３分） | ◎教師もグループの一員（３人組みを作るため）で、全体の様子が見られないので、インタビュー後に児童自身がそれぞれの活動をしっかり振り返る時間を設けることをあらかじめ伝えておく。  ･一人（班）で考える３分  ↓  ･全体で“もっとこうすればよい”とい  うことを出し合う。５分  ↓  ･次の活動ではどうするのかを一人で考える。1分  ☆一回目の活動を全体で振り返ることで一回目の活動を生かして二回目の活動へと入れるようにする。  ☆一人で振り返ることが難しい児童のためにも、班で考えてもいいこととする。 | 思・判・表  ･互いの意図をはっきりさせながら話題に沿って話す  【プリントの活動振り返り部分】 |
| １０  分  まとめ | ５．インタビュー活動を振り返り、聞き上手のコツをそれぞれの役割からまとめる。  ６．班でまとめたコツを交流する。  ７．全体で聞き上手のコツを出し合い、学習の振り返りをする。 | ◎それぞれの役割から出たコツを整理し、分類する。  ☆一人で振り返ることが難しい児童のためにも、班で振り返る時間を設ける。 |  |